

大切なものを守り、運ぶ。

生活を支える「段ボール」原紙を全国へ。



1 段ボール原紙をリールに巻き取っているところ 2 生産設備の制御や監視を行っているモニターが立ち並ぶ制御室。大画面モニターには気象情報や工場全体の生産・排水・紙質情報などがリアルタイムで集約・表示される 3 古紙を集積している広大な「古紙ヤード」

地球環境にも考慮し、進化を続ける。

電化製品や食料品、書籍など、私たちの身の回りにある物のほとんどは「段ボール」を使って運ばれ、インターネットなどによる通信販売の普及とともに、その需要はますます高まってきました。この段ボールを日本で初めて製造したのがレンゴーです。より少ない資源で大きな価値を生み出す“Less is more.”をキーワードに、地球環境に優しいさまざまな段ボールを生産しています。段ボールは、「ライナ」という表面の紙と、その間にある波型の「中しん」という紙からできています。金津工場では、段ボールの原紙であるライナ原紙と中しん原紙を生産してお

り、原料の97%は古紙等のリサイクルによるものです。

また、段ボールの可能性を追求し開発されたのが、従来より25%軽量化した中しん原紙です。この紙は二酸化炭素の排出量削減につながる製品で、環境問題への関心が高まる中、その価値は大きく認められてきています。

子育て世代への制度が充実。

育児休業制度はもちろんのこと、第3子以降の子どもが生まれた社員へ100万円の出産祝い金を贈与するなど手厚い制度を設け、子育て世代をサポートしています。

教えて！

レンゴー のすごいところ

Q 会社の自慢を教えてください！

A 従来よりも25%軽量化した段ボールの中しん原紙は、これまでと同等の強さを持ちながら、荷物の搬送や包装時の作業効率を向上させています。この紙を最初に開発した当時はあまり注目されませんでしたが、環境問題がクローズアップされるようになった十数年前にリニューアル。軽いため搬送時のCO₂の排出量を削減でき、環境に優しい紙として全国に普及しています。



Q この先、目指していることは？

A DX技術を積極的に導入し、高品質な製品づくりを推進するとともに、生産性向上や働き方改革に取り組んでいます。また、環境面ではCO₂排出量削減に向けて燃料転換、さらにはカーボンニュートラル実現を目指して取り組むなど、次世代へ向かって継続的改革を続けていきます。



気になること、聞いてみました。



製紙課 担当課長 原 浩一さん

Q 仕事にはどんな人を求めていますか？

A 興味を持って積極的に新しいことにもチャレンジしてくれる人材を求めています。そして、明るく、常に前向きで、人とのコミュニケーションが取れる人がいいですね。

Q 就活中の皆さんにメッセージをお願いします。

A 給料や福利厚生も選択肢の一つですが、それ以上に自分がやりたいことやチャレンジしたいことができる企業を選んでください。企業訪問した時の第一印象も大事かもしれません。

こんな職場です

女性にうれしい更衣室の整備。



気兼ねなくトイレに行きたいという女性従業員の声をもとに、女子更衣室の中にトイレを設置。シャワールームやドレッサーもあり、休憩時にはソファでゆったりとくつろぐこともできます。



レンゴー 株式会社 金津工場

〒919-0698 あわら市自由ヶ丘1-8-10
TEL.0776-73-1234 FAX.0776-73-7038
<https://www.rengo.co.jp/> ☒ ko-takahashi@rengo.co.jp

設立:1920年/代表:代表取締役社長 兼COO 川本 洋祐/資本金:310億6,600万円/
売上:3,440億8,600万円(単体)/従業員数:118人(工場)/平均年齢:45.9歳(工場)
/勤務地:同上/主な勤務時間 8:25~17:10/福利厚生:社会保険、年次有給休暇、リフレッシュ休暇、慶弔見舞金、育児・介護支援制度、福利厚生代行サービス

Uターン採用企業

Iターン受入れ企業

公式WEBサイト

